

門戸開放:
ロシア産違法材の輸入を防ぐ
ことのできない日本の失敗



EIA-GLOBAL.ORG



CONTENTS

3	はじめに
4	ロシアの森林セクター：改革の必要性
6	SAN XIA 社-日本の住宅に使われる違法なロシア木材
10	越境盗伐 - 満州里
12	SAN XIA 社の大連工場
13	日本の政策：他の先進国への遅れ
14	結論

For over 25 years as a non-profit organization, EIA has pioneered the use of undercover investigations to expose environmental crime around the world. Intelligence reports, documentary evidence, campaigning expertise and an international advocacy network enable EIA to achieve far-reaching environmental protection by spurring changes in market demand, government policy and enforcement related to global trade in wildlife and environmental products.

© Environmental Investigation Agency 2014.

No part of this publication may be reproduced in any form or by any means without permission in writing from the Environmental Investigation Agency, Inc. The contents of this report do not necessarily reflect the views and opinions of EIA's funders. EIA is solely and entirely responsible for the contents of this report.

Cover: EIA

(シベリアと極東ロシアを示すロシアの地図)

RUSSIA

SIBERIA

RUSSIAN
FAR EAST

JAPAN

はじめに

過去何年もの間、杉、檜や松など針葉樹と広葉樹で構成される日本の豊かな森林は、住宅、家具、薪の原料として利用され、それは日本の豊かな伝統文化の発展を後押ししていた。しかし1960年代以降は、日本が木材及び木材製品を輸入するようになり、国内林業は衰退していった。木材は世界各国から輸入されているが、マレーシア、インドネシア、ロシアなど、合法かつ持続可能な伐採がスタンダードとなっていない国からも輸入が行われている。

日本の熱帯材の輸入の合法性について、環境団体などが疑問を投げかけてきたが近年、ますます厳しい視線が集まっている。しかしながら、多くは加工国である中国を経由しているロシア東部（本報告書では、以下、シベリアとロシア極東を含む地域を指すものとする）の温帯林からの日本の木材輸入は、全体の木材製品の輸入量に占める割合は大きいにも関わらず、近年あまり注目されなくなってきた。違法伐採はロシア東部における総丸太生産量の少なくとも50%を占めると推定されており、90%近くとするものもある。それはロシア東部の森林生態系や、ロシアの木材産業の将来の両方にとって、大きな脅威となっている。

1980年代から90年代にかけて、日本は他のどの国よりもロシア東部から大量の木材を輸入してきた¹。その後2000年代の初めから、中国が日本に代わってロシア東部からの木材輸入国第一位となっている。同時期、日本の木製家具、フロア材、その他の木材製品の中国からの輸入は安定的に増加している。これらの最終製品の多くは、以前に日本の木材製品メーカーがロシアから直接輸入し国内で家具に加工・製造していた時と同じロシア材を使って製造されている。これは、日本が決してロシア材の使用を止めたのではなく、日本の需要はロシア東部で行われる違法伐採の重要な原因となっていることを示している。

2013年、米国に本部を持つ非営利団体であるEnvironmental Investigation Agency（EIA）は、数年にわたる調査の結果、ロシア東部における違法伐採の範囲とその性質を明らかにした。この調査でEIAは、ロシアにある中国人の所有する製材所からの違法木材が国境を越え中国へ入り、欧米や日本の市場向けに輸出される木製家具、フロア材、その他の木材製品の製造業者へと渡る流通過程を追った²。EIAの調査はロシア及び中国の貿易データの分析、ロシアの当局、非営利団体及びコミュニティへの聞き取り、ロシア及び中国現地での木材・木材製品のバイヤーを装ったEIA調査員による潜伏調査で構成された。

EIAの調査では、ロシアからの木材輸入の最大手の一つとなる中国の会社であるSan Xia Economic and Trade Company（中国名：三峡木口有限公司、以下San Xia社）が、ロシア奥地において違法伐採されたアカマツをそれと知りながら購入し、最終製品に加工し大部分を日本市場へ向けて輸出したことが明らかになった。San Xia社はシベリアでアカマツやカラマツなどの森林約60万ヘクタールを所有しており、製材所を複数経営し、中国にある同社の事業部へアカマツの製材を輸出している。San Xia社の社員はEIAの調査員に対し、同社のシベリアのアカマツの多くがロシアの小さな違法伐採者のグループからブラックマーケットで購入した違法伐採に由来するものであり、同社がそれを偽造許可書を使い輸出していることを語った。

EIAはこの木材を国境を越え中国国内まで追ったが、San Xia社がロシア国境近くの満州里に所有する製材所を経由して港のある大連まで運ばれていることを確認した。大連では、San Xia社は工場を二つ経営しており、ベッド、戸棚、椅子、テーブルなどをロシア極東及びシベリアで伐採されたタモやマツを使って製造

しているが、それらの木材は構造材にも加工され、主に日本商社へと輸出されている。満州里と大連のSan Xia社社員へのインタビューでは、どちらの場合も社員は最終製品の約90%が日本へ輸出されると言っている。そしてこうした木材の多くは全国展開で木造住宅を建てる日本のハウスメーカーによって購入されている。シベリアのアカマツは日本の国産針葉樹と直接競合する。違法材は国際市場における木材価格を人為的に下げるため、日本の森林所有者を価格競争のうえで不利な状況に追い込んでいる。

米国とEUは中国製木材製品の最大の買手であるが、近年、違法伐採由来の木材製品の輸入を禁止し、企業に対して調達におけるデュー・ディリジェンス³の強化を求める新しい法律を施行している。需要国側によるこれらの新たな政策は、世界の木材貿易を変化させ、温室効果ガス排出に顕著な削減効果をもたらしたとされている⁴。

一方で、本調査報告が明らかにするように、日本が木材の合法性を確認するうえで取っている現在の自主的アプローチでは、市場から違法木材を排除することはできていない。世界第四位の木材製品の消費地域である日本は、過去には違法伐採問題への国際的取組においてリーダーであったにも関わらず、現在は他の先進国に後れを取っており、違法木材製品の輸入を防ぐための強制力のある規制を持っていない。価格の安い違法木材は国内林業の競争力を妨げ、輸出国の森林と現地の人々の生活を損なう。日本はそうした木材の市場を閉鎖するための確固とした措置を早急に取り組むべきである。国内外の合法的な林業生産を支援するために、日本も他の先進国に並ぶ時が来たのである。



ロシアの森林セクター：改革の必要性

ロシア東部一帯で、高度に組織化された木材マフィアは、慢性的に財政不足の状態にある地方当局に対して賄賂と恐喝という手段を使って、ロシアの「未開拓東部」と呼ばれる未開拓地において広葉樹丸太と製材の伐採、加工、取引から輸出までを組織的にコントロールしている。この仕組みはロシアと中国北東部のどちらにおいても業界ではよく知られており、業界はロシア木材の取引に伴う高いリスクについて十分に理解している。

法の取締の脆弱さと規則悪用の蔓延

ソビエト連邦の崩壊以後、ロシアの国家森林管理官のための予算は1990年代の約10%にまで削減されており、広大な公共の森林地のパトロールの実行力に著しく影響を与えると同時に、国家森林管理官たちを恐喝や賄賂等に関与させている⁶。ロシアのプーチン大統領

は最近、国有林職員の数が以前の1/7に減ったこと、さらにこれらの職員の多くが退職する年齢に近づいていることを指摘している⁶。

プーチン大統領はまた、森林ガバナンスが著しく脆弱であることを非難し、「連邦林業局及び多くの地方当局が意図的に情報をかく乱しており、法取締当局は非効率な働きをしているか、場合によっては全く働いていない」と発言している⁷。2012年の終わりごろ、プーチン大統領はロシアの森林セクター内に存在する国際的な組織犯罪者の摘発を率先して行った。2013年4月には、ロシアの検事総長であるユーリ・チャイカ氏がシベリア東部で大統領と会合し、森林管理における連邦・地方両当局の職員による職権乱用を含む森林セクターの汚職がかなり確立されたものであることを述べ、木材のほとんどが中国へ輸出されていることを指摘した⁸。2014年6月、監査によって連邦政府が連邦森林局に割り当てた予算から66億ルーブル（約190億円）がなくなっていることがわかった⁹。

連邦政府はシベリア東部のイルクーツク州で2013年8月に取締を行ったが、巨大国際犯罪組織が過去3年にわたり違法伐採材を約20億ルーブル（約60億円）分も輸出していたらしいということが明らかになった。公式プレスリリースやロシアのメディア報告によると、この組織は木材を違法伐採者から組織的に買い取り、木材を密輸することだけを目的とした一日限りの会社をいくつも設立してロンドリングし、偽造文書で伐採地点を隠して中国へ輸出している¹⁰。この組織は中国人がトップに立っているが、イルクーツク、ノボシビルスク、サンクトペテルブルグの多くのロシア人やロシア企業と関係がある。強制捜査の際には当局は4万m³の木材及びフリー板を押収しているが、これは列車の車両1,000台を満たすほどの量である。ニュースでは、調査は継続されており、連邦政府は

他の類似の巨大犯罪ネットワークを対象としているという。

国際環境団体WWFの最近の分析によれば、過去10年間のナラの輸出量を極東ロシアでの伐採許可レベルと比較したところ、ナラの輸出全体の少なくとも半分が、違法なソースに由来したという¹¹。伐採割当量が不正確で古い調査データに基づくものであり、利用でき

2010年だけ見ても、違法伐採はロシアの経済に、収益と資源の損失という形で10億ドル（約1,000億円）の損失をもたらしている

ない樹木や立地条件などのためアクセスできない樹木を含んでいること、さらに公式手続きを踏んで伐採された木材が実際には保護地区で違法に伐採されていることを考えると、実際の違法伐採の数字はおそらくもっと高いはずである¹²。EIA調査員は、この地方の多くの業界人から、ロシア東部全体で、すべての伐採のうち少なくとも80%が違法であると何度も聞かされている。

ロシア東部における違法伐採の影響

ロシア東部の森林は、ロシア連邦で最も生物多様性の豊かな地域を含んでおり、多くの種類の動植物の生息地となっている。何百万人というロシア民族と、何万人もの先住民族は、この地方のあちこちで伝統的な森林とともに暮らす生活を営んでおり、生きる手段を森林に依存している¹³。伐採、木材加工、松の実の採



極東ロシア沿海地方：ウデヘ人漁師。

極東ロシア沿海地方：価値のある広葉樹材を積み込む木材運搬トラック。



EIA

集、養蜂などの多様な森林産業が、何十万户という家庭の重要な収入源となり生活手段となっている。

シベリア及び極東ロシアの森林は、その面積と二酸化炭素吸収源という役割において、アマゾ

ンに匹敵する。ロシアの伐採の75%はいまだに皆伐施業が行われているが¹⁵、これはロシア北東部の永久凍土地帯の森林の一部を「砂漠同様」に変え、これら劣化した永久凍土地帯からメタンガスが発生し地球温暖化ガス排出の主要源となってしまっている。

2010年だけ見ても、違法伐採はロシアの経済に、収益と資源の損失という形で10億ドル（約1,000億円）の損失をもたらしている¹⁶。さらに専門家は、これらの数字は公的に記録された損失のみに基づくことから、実際の違法伐採とそれに由来する取引の約5%にしか満たないだろうと推定している¹⁷。違法で管理されない伐採は森林に依存するコミュニティ、この地方の豊かな生物多様性、そしてロシア全体の森林セクターに深刻な影響をもたらし、さらには、ロシア、中国、米国、EUそして日本の木材製品製造の将来に長期的な悪影響を及ぼす。価格の安い違法木材は人為に市場価格を下げ、規則を守る企業・業界の存在を脅かし、合法事業者の競争力に影響を与えるためである。

極東ロシアの貴重な広葉樹材

2013年、米国に本部を持つ非営利団体であるEIAは、数年にわたる調査の結果、ロシア東部で違法伐採の及んでいる範囲の全貌とその性質を明らかにした。この調査でEIAは、極東ロシアの針広混交の温帯林を主な調査の対象としたが、この森林は残りわずかとされる野生のアムールトラの生息地である。ナラ、タモ、シナノキの広葉樹が輸出され、中国北東部のフロア材や家具業界にわたり、そこからさらに米国、欧州、日本へと輸出されている。2013年の「Liquidating the Forests: Illegal Logging, Organized Crime, and the Last Siberian Tigers」森林を破産させる伐採：違法伐採、組織的犯罪、最後のアムールトラ」と題した報告書において、EIAは、極東ロシアのハバロフスク州最大の伐採会社の一つが伐採した、違法なナラの丸太が中国の製造業者のもとへ行くまでの過程を追跡した。この製造業者はこのナラを無垢のフロア材に加工し、そのほとんどは米国最大のフロア材専門小売であるLumber Liquidators社に輸出されていた。2013年9月、米国連邦当局はLumber Liquidators社の本社を強制捜査したが、これは違法木材製品の輸入を禁止する米国レーシー法への違反の可能性があると調査が行われていたからであるという。

最も多く消費される貴重な広葉樹材は、モンゴリナラ (*Quercus mongolica*)、ヤチダモ (*Fraxinus mandschurica*)、ハルニレ (*Ulmus propinqua*)、アムールシナノキ (*Tilia amurensis*) and シナノキ (*Tilia manshurica*)である。これらの樹種はシホテ・アリニ山脈の針広混交の温帯林において重要な役割を果た

している。これらの木になる実（ナッツ）は、シカ、ノブタ、その他の動物の栄養源となっており、またそれが故に絶滅が非常に心配されるアムールトラ (*Panthera tigris altaica*) やアムールヒョウ (*Panthera pardus orientalis*) の個体数を支えている。どちらも、この地球上で最も希少な大型動物である。

20年にわたる違法伐採のため、商業的価値のある貴重な広葉樹材は急速に減少した。現在残る最上の広葉樹材は保護林にしか残っておらず、そこでは伐採は禁止されている。こうした森林は、規模、重要性、保護レベルという点では国立公園から河川沿いの水源涵養林、松の実の採集用や先住民族の伝統的利用のために指定された森林まで、多岐にわたる。質の高い高齢樹木は世界中で希少なことから、これらの木には国際市場でプレミアム価格がつくが、樺やポプラなどのよくある、成長の速い広葉樹材や針葉樹材と比べて3－5倍の値段がつけられる。

ロシアの広葉樹材の大部分、つまり96%は、中国に輸出されている⁴⁵。貴重な広葉樹材は最も一般的には家具やフロア材に使われ、中国国内や輸出市場に行き着く。ロシアの広葉樹材・針葉樹材は中国全土で様々な製品へと加工されているが、中国北東部で加工される家具やフロア材のほとんどは大連の港を通り輸出される。中国の輸出データによれば、広葉樹材の家具とフロア材の7%は日本へ向けて輸出されている⁴⁶。

SAN XIA 社-日本の住宅に使われる違法なロシア木材

バイカル湖の西側に位置する、シベリアのイルクーツク州において、EIAの調査員は中国のグローバル企業であるSan Xia社の社員と面会した。シベリアにおける同社の伐採事業についての詳細について語った社員達は、この地方全体で違法伐採が蔓延していることをよく理解していた。San Xia社はシベリアで森林地と複数の製材所を所有しており、国境を越え中国に向け毎年約4万m³のアカマツの製材と丸太を輸出している。San Xia社の副社長、Liu氏によれば、この木材の90%は日本市場向けの製品になるという。イルクーツク州のSan Xia社員はEIAの調査員に対し、同社の木材供給のほぼすべては近隣の森林で伐採している地元ロシア人から購入したものであると述べ、そうした木材のうち50-80%は違法に伐採されていることを明かした。

SAN XIA社の森林伐採権 - 違法木材のロンダリングの隠れ裏

シベリア東部では、San Xia社はイルクーツク市から約100km北西に行った郊外に製材所を有している。EIAはこの製材所の所長であるXu氏と話をし、San Xia社の現場での運営についての説明を聞いた。San Xia社は最近、「Ya Bao」社という別の中国の会社をパートナーとして森林伐採事業に投資をしている。この伐採事業は60万ヘクタール分を対象としており、伐採権の保有者に49年間のリース期間中、140万m³の樹木を伐採する権利が与えられる。San Xia社の地元マネージャーであるXu氏は、この伐採権により同社に毎年3万m³の木材を輸出する許可が与えられると説明した。しかし、実際にはこれらの許可を年間8万m³の伐採にまで適用できているという。「我々の伐採権は全部で140万m³を伐採する権利だ。毎年、当局は3万m³の許可を出す。実際には8万m³伐採しても、誰がチェックするんだ？」¹⁸Xu氏はEIAに、実際にはSan

Xia社は伐採権を伐採地における木材生産のために購入したのではなく、違法木材をロンダリングするための書類を獲得するのが主な目的で購入したことを示唆した¹⁹。

EIAのイルクーツク州のSan Xia社訪問の二日目、同社の現地パートナー企業は、主要ハイウェイから30 km南の山にある伐採地へEIAを案内した。この現地訪問には30年間地元林産業に携わっている同社の森林部長のロシア人が同行した。

現地訪問の間、EIAはSan Xia社の森林伐採地が過去数十年の間に、すでにかなり伐採されており、健全な高齢樹木の残る地域はわずかであり、そうした樹木の大部分が、過去も現在も伐採が禁止されている河川の近くや急斜面にしか残っていないことを確認した。San Xia社のパートナー企業の伐採班は、このわずかな残る地域でカラマツ、アカマツ、の伐採を行っていた。同社の地元森林部長はEIAに、「衛生伐採」または「中間伐採」の許可証を使って禁止区域で健康な木の伐採を行うことができる²⁰。

San Xia社のイルクーツクの製材所所長であるXu氏は、同社の伐採リースは49年間である。同氏は言う：「全部で140万m³を伐採するリースだ。毎年、当局は3万m³の許可を出す。実際には8万m³伐採しても、誰がチェックするんだ？」

と説明した。これらの許可証を得るためには、彼らは単に地元の森林専門家にお金を払って、その専門家が森林調査を行った結果、除去しなければならない病気の樹木が数多くあることを書類に書いてサインしてもらえばよいのだという。San Xia社はそれで、健全な高齢樹木を伐採しこれらの許可証のもと輸出することができる²⁰。



San Xia 社の日本市場向けのアカマツやタモのサプライチェーン。

ロシア東部では「衛生」伐採許可書の悪用が蔓延している。役人は伐採者に、見返りを受ける代わりに、重要な保護区内として分けられた地域からの何百万m³もの貴重な木材を、「衛生目的の伐採」または「中間伐採」として伐採することを許可する²¹。そもそもこれらの伐採は、病気の、死にかけた、そして形状に問題のある樹木を森林全体の健康を改善するために伐採すべく設けられた制度である。ほとんどの商業的に価値のある樹木は現在は保護林にしか残っていないことを考えると、そうした森林管理を任されている地方当局は、極東ロシアの林業セクターにかなりの影響力を持っていることになる。こうした当局による深刻な不正管理がどの程度のものかについて、何十年もの間、市民団体は記録を蓄積してきた²²。そうした不正管理はまた、2010年のロシアの国営テレビ局による潜伏インタビューに答えた極東ロシアの地元の役人や沿海地方の林業局の元局長によっても裏付けされている。「中間伐採」は、病気の樹木を伐採し健康で良質な樹木を残す伐採だ。しかし今日、健康な樹木が製材所に送られ、病気の樹木はみんな残ってしまう。これは異常な事態だ。しかしこれが今日の我々の暮らしだ。いつこれが終わるのか—それはわからない²³。

さらに、San Xia社の伐採地のロシア人マネージャーは、彼らは常に木の一番いい部分だけを取っていき、残りは腐るままに置いて行くと語った。「木を切り利益を出すためには一番いい部分だけを切って持って行くことです。他は一切森に残して腐るままにしておきます。だいたい25-30%が残る部分です。伐採地に残してくるものにも利用できるものはありますが、置いてきます²⁴」。さらに、このマネージャーは同社の伐採地で狩猟者がクマ、クロテン、シベリアジャコウジカやその他の捕獲禁止の絶滅危惧種を狩猟していると述べた。そのほとんどは、クマの場合は手や胆嚢、ジャコウジカは麝香腺など、体の一部のみを目的として殺され、中国に送られ漢方薬の原料となる。またマネージャーらによれば、地元の有力者が外国人や裕福なモスクワ市民を連れてヘリコプターでクマやヘラジカを撃ちにやってくるという²⁵。

SAN XIA社の実際の木材調達元 - 違法伐採グループ

紙やパルプ用材の生産現場でよく行われる皆伐施業は、シベリア北部のより奥地の森林でよく見られる。一方、シベリア横断鉄道沿線の輸出専門の製材所のある近隣では択伐施業が一般的である。製材所の所長は、EIAの潜伏調査員に対して、過去によりアクセスのよい地域で過剰伐採が行われた結果として、良

質な木材は2-3日かけて到達するような地点にしかないと言った。伐採のほとんどは、ロシア東部全域で罪を咎められることなく転々と場所を変え伐採を行っている違法伐採者グループによるものである。彼らは最高級の木材を求めて森林伐採地、保護地、国立公園をくまなく渡り歩く。最高のそして通直な部分だけを切り出すため、その結果として18mの高さの木からしばしば3~3.6mにしか満たない部分を引きだして来て、残りを廃棄するという資源を無駄にするやり方をしている²⁶。枝や木の残りは、暑くて乾燥した夏の間によく起こる森林大火災の原因となっている²⁷。そして多くの場合は、伐採者が自らの足跡を消すために火をつけているのである²⁸。

時には、これらのグループは独立して伐採を行い、丸太を地元の小規模製材所や業者に販

売している。また一方では、グループは割当量以上の分量の高級木材を伐採するために森林伐採権の保有者に雇われていて、伐採地区近辺の保護区（河岸沿、または木の実採集のための特別指定区）など伐採地の圏外で、あるいは伐採の許可されていない樹木を伐採しているとも言われている。これらの違法グループが森林警察に捕まると、多くの場合、大規模伐採権保有者はそうしたグループとの関係を否定する。

奥地にある森林地では、伐採グループは違法に伐採した丸太をトラクターで近くの村の製材所まで引きずって行き、そこで地元当局のスタンプのある偽造伐採許可証を提供してもらう。これは、製材所のオーナーや代理人がしばしばインターネットでダウンロードした文書を自分で印刷し、地元の役人に持って行き少額の賄賂を

木を切り利益を出すためには一番いい部分だけを切って持って行くことです。他は一切森に残して腐るままにしておきます… 伐採地に残してくるものにも利用できるものはありますが、置いてきます。



シベリアのSanXiaの製材所



EIA

支払ってスタンプを押してもらうのである。これらの許可証は多くの場合、それが許可する実際の木材とはほとんど関連性もない²⁹。沿海地方の例を挙げると、村の製材所が提供した文書では、その丸太は二つの山岳地帯を間に挟んだ200kmも先の奥地にある伐採地から来たとされていた。しかし、森林専門家はその丸太を、違法伐採の地点近くに残っていた切株と照合させている³⁰。

San Xia社の現地マネージャーであるXu氏は、彼のところの製材所は木材を伐採グループ以外から購入することはほとんどないと説明した。「この地域にはたくさん小規模の民間の[伐採会社]がこうして[木材を盗伐し売ること]で成り立っています。ですからお金を持っていさえすれば買うことができるし、供給については問題ありませんから³¹」。違法木材を民間の伐採会社から購入するという行為がどのくらい行われているかについての質問に対して彼は以下のように答えた：「少なくとも80%ですね³²」。San Xia社の社員は、ロシア人で構成される地元グループから購入するそうした木材のほとんどが違法伐採に由来することを十分認識していた。ロシアではXu氏が、中国ではSan Xia社の副社長Liu氏が、このやり方についてフランクにEIAに説明している。

また他の事例では、路上に臨時の市場が開かれ、伐採グループが中国人バイヤーに丸太を売っている。商品と取引の両方が違法な性質を持つため、これは非常に危険なやり方であ

る。San Xia社の事業地から200km西のある街の製材所の中国人オーナーPan氏は、EIAにこの手の市場について以下のように説明した。「私は中国南部出身のオーナーの会社で3年間働いたが、この会社が買うのは全部「ブラック・ウッド」でした。毎日私たちは現金を持って丸太を買いに行きましたが、時には強盗にあうこともありました。強盗から銃を突き付けられたことが3度もあります！³³」。

Pan氏のような人は他にも多くいて、現在はロシア人の調整役を雇って需要に合わせて伐採グループから丸太を購入している。Pan氏がEIAに語ったところによれば、彼は木材の約半分を5-6の決まった伐採会社から購入しているが、これらの伐採会社は全般に割当量の5割増しで伐採するのだという³⁴。Pan氏の木材の残り半分は「ブラック・ウッド」であり、小規模のロシア人伐採グループから購入している。伐採グループが許可証を持っていない場合、Pan氏の調整役が偽造許可証を印刷して地元の森林管理担当の役人に持って行き、1mにつき3-6ドルを支払って政府スタンプを押してもらうのである。EIAが購入する丸太のどの程度が違法伐採されたものかを聞くと、Pan氏は単純に「ほとんどすべて」と返答している³⁵。

San Xia社が地元のロシア人チームから木材を購入する際、その木材は何らかの方法で「合法化」される必要がある。San Xia社自らの伐採リリースに基づく許可証を使うか、ロシア人が自分で許可証をSan Xia社に提供すること

政府は片方の目では何が起きているかをちゃんと見ていて、もう片方の目はつぶっているのです。政府はこの125m³用の許可証を使って伐採者が500-1,000m³を伐採していることを知っています。しかしリースの期間中、もしも政府に見つかった場合は、これが最初だと言えいいのです。いつも「最初だ」と言えばね。

もある。多くの場合、これらの許可証は地元住民のための薪や建築用材の少量の伐採を意図したものであるが、それが輸出のための違法な商業伐採に使用されているのである。Xu氏はこのプロセスについて次のように語った。「私たちは民間の小規模サプライヤーから木材を買いますが、業者はたくさんいます。小規模サプライヤー達は、例えば、125m³の伐採の許可証を持っていて、指定地域で伐採するように言われています。125m³のうち75m³は建築用材、残りが薪です。でも実際には彼らは1,000m³伐採するかもしれませんが、当局のチェックが入ると同じ許可証を見せるのです」。

Xu氏は続けた。「政府が業者に許可証を出す時、それは本当はリースのようなものなのです。そのリースを保有している間は、実際はいくらでも好きなだけ伐採することができるのです³⁶⁾」。

Xu氏は地元のロシア人役人がこうした仕組みがどう動いているかよく知っていると説明した。「政府は片方の目では何が起きているかをちゃんと見ていて、もう片方の目はつぶっているのです。政府はこの125㎡用の許可証を使って伐採者が500-1,000㎡を伐採していることを知っています。しかしリースの期間中、もしも政府に見つかった場合は、これが最初だと言えいいのです。いつも「最初だ」と言えはね。実際、ロシア政府はこの点についてはずいぶんいいかげんです³⁷⁾」。

Xu氏はEIAに一度、違法丸太を購入するところを地元の森林警察署長に捕まった時のことを語った。「その警察署長は金銭を要求してきました。署長は私が法律に違反したと言い、でもお互い顔見知りなので代わりにガソリン2トンが私が署長のために買うべきだと言ったのです。私は彼に2トン分のガソリン代5万ルーブルを渡しました³⁸⁾」。Xu氏は、その後その警察署長とは良い友人関係にあると言い、それ以降トラブルはないという³⁹⁾。

ロシア東部の森林業界において、違法・汚職行為に関するこうした詳しい知識は地元事業者以外の者でも備えている。San Xia社の副社長Liu氏は、中国国境付近の満州里にある彼の事務所で、ロシアの伐採グループから調達する木材の違法性について、非常に明確に理解していることを証明している。「ロシア人から木

材を買うことは違法です。……しかし現場を見つかりさえしなければ、自分のものだと言えいいのです⁴⁰⁾」。

ロシア東部で事業を行う多くの他の中国の企業同様、San Xia社は、自らが購入あるいは伐採する丸太を、その地域の自社製材所かパートナー企業の製材所で加工する。EIA調査員はその両方を訪れ、どちらも活発に稼働していることを確認した。どちらの製材所でもスタッフはほぼ全員が中国人移民であり、その多くは中国北東部の黒竜江省出身の貧しい農民である。この男性たちは1日12時間、週に7日の勤務で、しかも伐採シーズンであるシベリアの厳しい冬の時期に戸外で作業している。

San Xia社の製材所は内部線路を持っており、その線路が直接ロシアのシベリア横断鉄道につながっている。丸太に課される輸出関税を避けるために素早く粗引きの製材加工をされた後、製材は列車に積み込まれ、シベリアを越え中国の主な国境地点である満州里へと直接送られる⁴¹⁾。

ロシアの中国人ビジネスマン

ここ20年の間、中国人ビジネスマン達はシベリアにおける林業セクターのあらゆる段階において主要プレーヤーとなってきた。そしてこの仕組みは、ロシア政府が自国における木材資源の加工を増やそうと2007年に丸太の輸出関税を引き上げることを決定して以来、強化されている。ロシア東部で過去5年間にできた新規の製材

所のほとんどは中国人の所有であり、中国人の移民労働者だけを雇っているところも多い⁴²⁾。ロシアでは外国人が事業所有者になるには厳しい規制があるため、中国人木材取引業者、伐採リース保有者、そして製材所所有者たちは強力なコネを持つ地元ロシア人を自分たちの現地代理人として雇う。これらロシア人パートナー達はたいてい現地の林業セクターにおける経験があるか、現地の役人に強力なコネがあるか、あるいは地元政府や地方政府に親類がいるなどの要素をいくつか持った者たちである。こうしたプレーヤーたちは賄賂や偽造文書を使ってロシアの林業規制の網を掻い潜ることを常としている⁴³⁾。

ロシア東部における広範囲にわたる中国からの投資には、様々なプレーヤーが関与している。こうしたプレーヤーには何十万ヘクタールもの伐採リース、何十か所もの製材所、大小の商社、さらにはロシア奥地の森林近辺の村にある家族経営の製材所などを所有している中国国家所有の企業、または民間の林産業者が含まれている。よって、家族経営のような小規模の事業でさえ一握りの強力な中国人事業者の運営するネットワークによるコントロールのもとにあるということである。こうした中国人事業者たちはロシアにおいて何十年もの経験を持ち、政府との公式、または非公式の関係を持っている。そうした力のある事業者はロシアと中国両方の役人と関係を維持しつつ、組織的な犯罪活動の仕組みの中で動いており、しばしば様々な違法行為に関与している⁴⁴⁾。

San Xia社の森林のアカマツとカラマツの丸太





越境盗伐 - 満州里

ロシア東部で伐採される木材のほとんどは輸出向けであり、輸出のうち約75%が直接国境を越えて中国に入る⁴⁷。中国国内の森林での違法伐採が引き起こした深刻な環境損害を受け、1998年に中国政府により国内のほぼすべての伐採に対し禁止規制が強化されて以降、15年間で中国はロシア東部の木材の最大の取引相手として急成長した。2012年には、1800万m³の丸太、製材、ベニヤ板がロシア東部から中国へと輸出されており、これは中国の木材輸入全体の20%を占めている。（ロシアから中国への輸出グラフ（図1））アカマツやカラマツがこうした輸出の大部分を占める。

中国がロシアから輸入する場合、その約半分以上は満州里を通過するものである。満州里は中国の内モンゴル地方にある小さいながらも繁栄した都市である⁴⁸。平均的な日で、列車800車両以上ものロシアの丸太や製材が、満州里に到着する⁴⁹。こうした木材のほとんどは商社によって輸入されており、大規模製材所から直接購入され、市の東部にある大草原地帯にまで広がっている製材置場に直接輸送されたものである。こうした企業の多くは丸太を製材に加工する製材所を運営しているが、最終製品

を生産する工場はほとんどない。これらの木材の大部分は中国国内で使用され、国中で建設されているビルのコンクリート用の枠などになっている。しかし、かなりの量が家具やその他の製品となって米国、EU、日本市場へと向かう。

貿易の中心としての満州里はとても重要で、この都市の需要が、ロシアの奥地にある製材所での生産量や木の種類に直接影響を及ぼしている。イルクーツク州にある製材所のオーナーはEIA調査員に、彼は中国市場の変化する需要に素早く対応できると説明している。「中国ではマツがいいんだという情報をこちらに送ったうえで電話でどんな仕様がいいのか説明してくれれば… すぐに動いて購入、加工、そしてあなたのところまで輸送を手配します⁵⁰」。

そして、満州里の中国の製材所オーナーや取引業者ですら、シベリアにおける違法ビジネスがいかに頻繁に行われているかをよく知っていた。EIAはSan Xia社の副社長Liu氏及び同社の満州里事業部のマネージャーと会ったが、Liu氏は個人的にロシアにおいて豊富な経験を持っており、彼がロシアの伐採グループから木材を買う方法やそれを合法化するのがいかに簡単かについて説明した。Liu氏は、他人の

木を切るのは違法だが、それを行った他のロシア人から木を買うのは可能であるという。「他人の木を切ってはいけませんが、ロシア人が盗伐した木を買うことはできます」、「現場さえ見つからなければ、自分の木だと言ってしまえばいいのです⁵¹」。

San Xia社の満州里工場はロシアからの輸入アカマツの乾燥、仕分け、加工を行っている。EIA調査員は木材土場やフィンガージョイントなどの加工をしている集成材工場を含む施設を見学した。Liu氏はEIAに対し、同社の輸出の90%は日本市場に向けたものであり、日本においてはその木材が住宅や家具に利用されていると説明した⁵²。San Xia社の満州里の工場はまた、かなりの分量のシベリア産アカマツ製材を未加工のまま同社のパートナー会社であるLong Hua社及びShuang Hua社へ送っている。両社は中国北東部の港、大連に位置している。

ロシアから中国への木材製品の輸出（×100万M³、丸太換算）

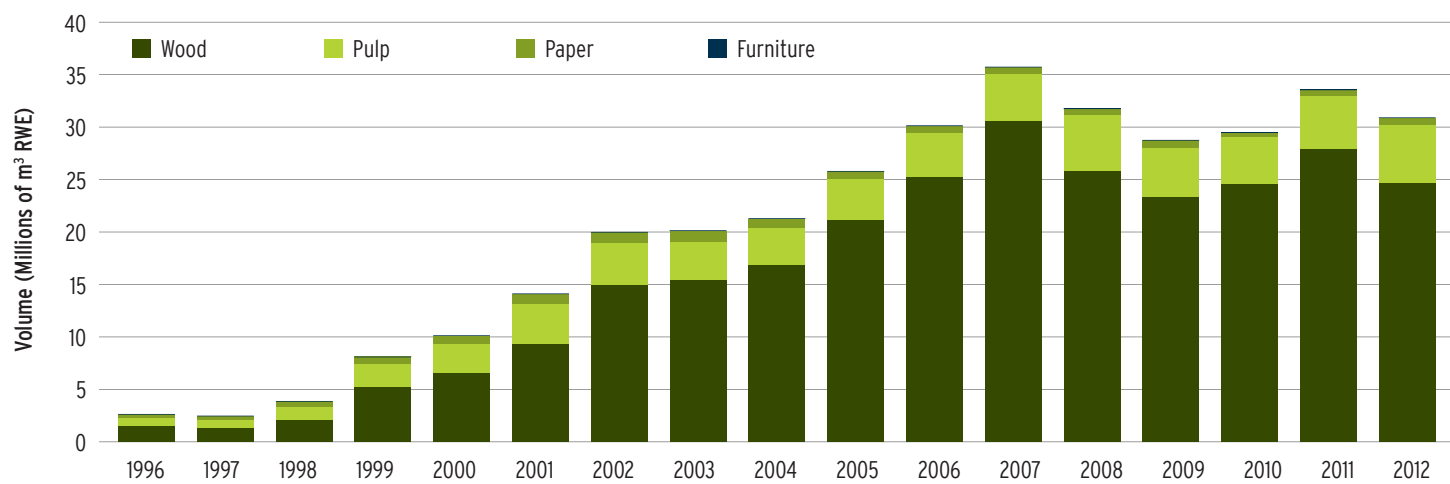


Figure 1

Source: Russia

中国の輸出相手上位10か国（フロア材）

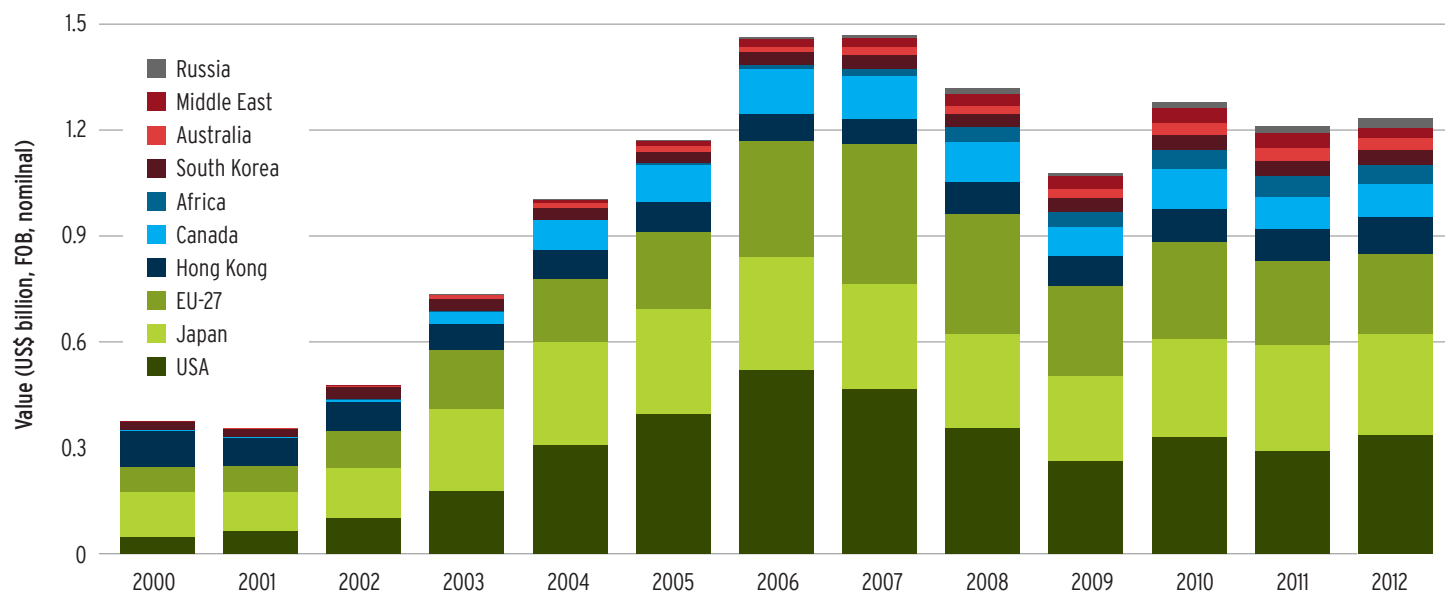


Figure 2

Source: China

中国の輸出相手上位10か国（家具）

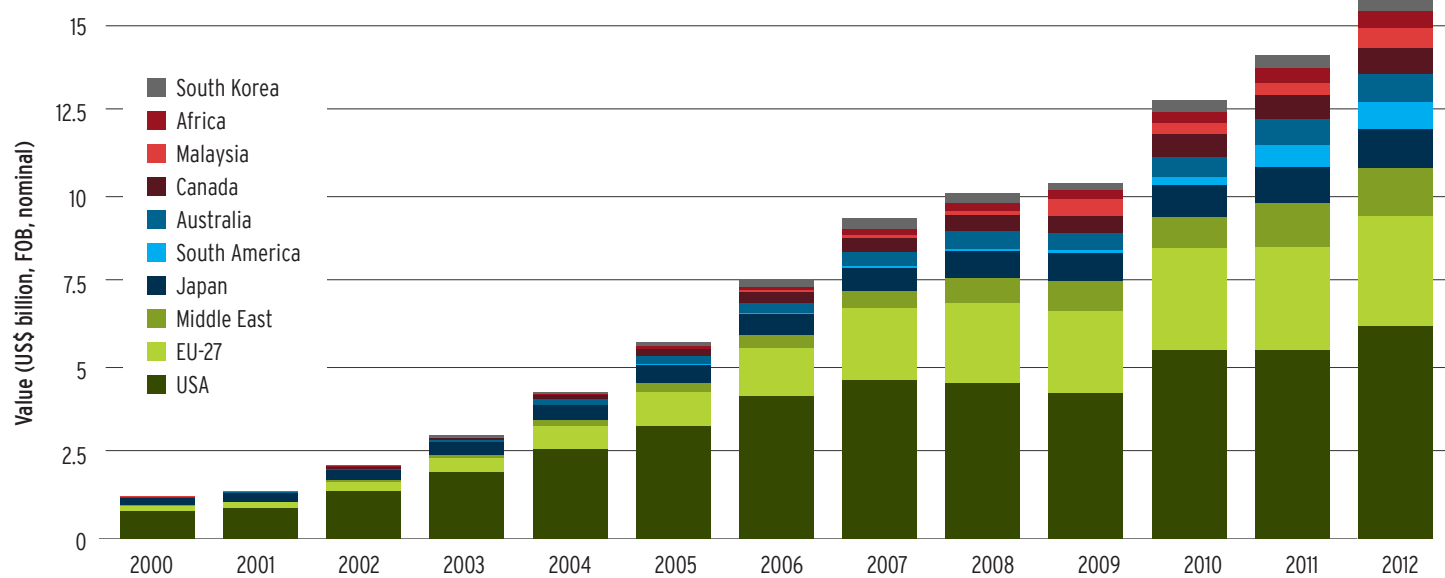


Figure 3

Source: China customs data

日本の中国およびロシアからの木材製品輸入（×100万M³、丸太換算）

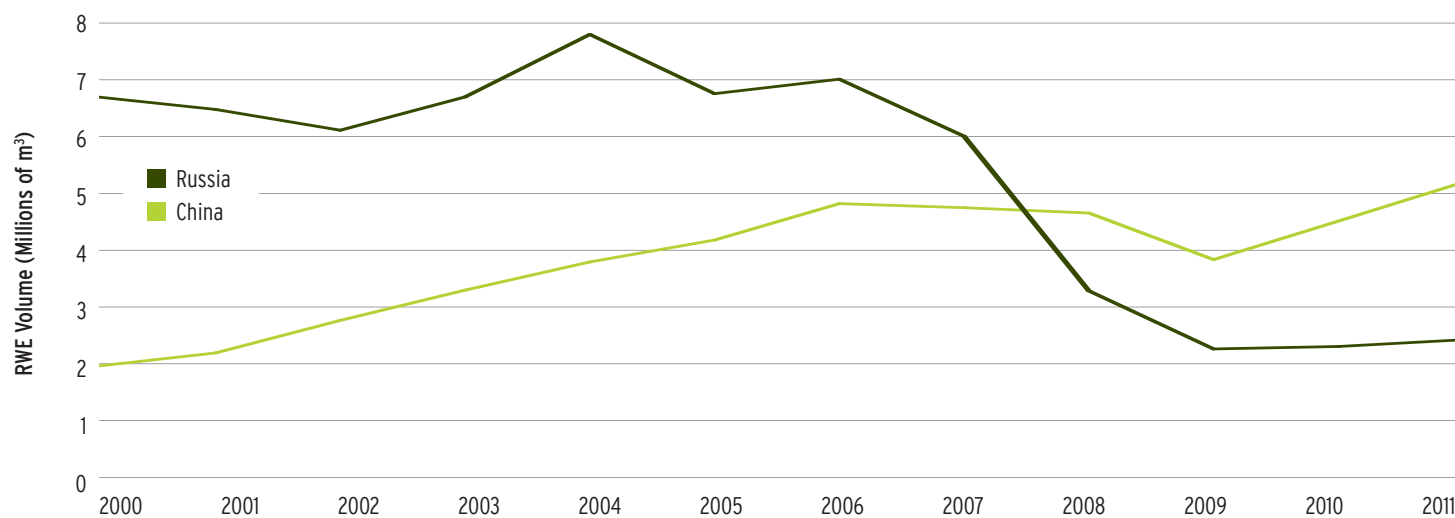


Figure 4

SAN XIA 社の大連工場

San Xia社の関連会社、大連Long Hua社（中国名：大連龙华木业有限公司）は、瓦房店市という町に位置している。ここは大連の主要なコンテナ港の近くである。Long Hua社はベッドや椅子をはじめとする様々な家具を製造している。Long Hua社のセールスマネージャーはEIAに対し、製品の大部分が日本市場向けに、しかもある巨大小売会社一社に輸出されると語った。Long Hua社の家具は世界中の様々な木材で製造されている。極東ロシア産のタモの単板、シベリア、カナダ、EU産のマツのフリー板や、中国中央部にある他の製造者から購入する複合木質ボードなどである⁵³。

極東ロシアからの広葉樹材は、違法の可能性が非常に高いとされている材である。EIAは同社が極東ロシアから調達したタモ材の合法性を確認することができなかった。ロシアの税関データには、沿海地方との国境に最も近い綏芬河にあるSan Xia社の関連会社が、3万㎡のタモの板材と丸太を2012年に輸入したと記載されている⁵⁴。このうち約半分にあたる1万4,000㎡は、ハバロフスクを拠点とするロシアの巨大企業から購入されたものである。この企業は独立認証を受けたタモの森林の伐採リースを所有しないにも関わらず、近年、責任ある管理に関する協働関係を環境団体と築いている⁵⁵。

残りの1万6,000㎡のタモは、異なる数十社の商社からそれぞれ調達されている。EIAの2013年の報告書にある通り、Long Hua社は木材輸出用の伐採リース証明書を出せないため、極東ロシアでは違法材のロンダリングは主に、商社を通して行われている⁵⁶。Long Hua社の社員は、以前はナラを使っていたのが、ナラは手に入りづらく価格が上がっているため、現在はタモを扱っているという。すでに少なくなっている極東ロシアのナラ材は、ここ十年も違法伐採者から集中的にターゲットとされており、商業的にアクセス可能な高品質の木材資源は底をつき始めている⁵⁷。

San Xia社の関連会社、大連Shuang Hua社（中国名：大連双华木业有限公司）は、主に住宅用、一部家具の製造用の集成材、構造材、パネル材に特化した会社である。大連のSan Xia社の社員は同社のシベリアのアカマツの輸入はのために使用されていると述べた⁵⁸。同社の他の製品同様、San Xia社の社員は、一部が中国国内で販売されているものの、これらの木材のほとんどは日本に輸出されていると言っている。San Xia社社員によれば、多くの日本の商社がこの木材を買っており、主に住宅建設に使用しているという⁵⁹。

2013年に、日本は12億ドル（約1,200億円）相当の家具と、15億ドル（約1,500億円）の他の木材製品を中国から輸入し、米国に次いで中国からの第2位の輸入国となっている⁶⁰。過去30年の間、日本の極東ロシアから

の丸太や製材の直接の輸入は確実に減少しているが、中国からの最終製品は増え続けている（グラフ4参照）。中国は違法木材の「ブラックボックス」として機能しており、違法伐採された木材は、中国で合法木材と混ざってわからなくなってしまう。よって中国から木材を輸入する業者は、現地加工業者からの合法性証明書類を単純に信頼することはできないのである。

日本の店舗で販売されるLong Hua社製タモのベッド



Shuang Hua社の建設用集成材の広告カタログ



組み立て図面



平角（側面）

105/120 x 150 ~ 360 x 2980 ~ 5980mm

2010年ロシア連邦で破壊的な山火事が猛威を振った。2007年に制定された新しい森林法のもと、消火活動資金が減額されたことが、山火事に起因する森林荒廃の原因の一つとされている。

日本の政策：他の先進国への遅れ

EIAの調査では、日本の現在の政策の枠組みは違法木材製品の輸入を防ぐことができないことが明らかになった。現在の日本の違法伐採対策は「グリーン購入法」という政府調達を対象とした法に基づくものである⁶¹。これは政府による合法木材の調達を義務付けるもので、木材製品を輸入する企業には合法性証明に関する自主的なガイドラインが設けられている。

こうした措置は成立当初には進歩的であったが、その後、他の先進国が違法木材輸入のための実効性のある措置を導入する中、日本はそれに遅れを取っているのが現状である。日本の木材製品需要の95%は法的拘束力のある規制の対象となっておらず、その大部分は民間セクターでの取引である。民間業者はグリーン購入法のもの公共調達以外では、木材が合法であることを確認する義務はない⁶²。

法が効力を持つためには、法遵守へのインセンティブをもたらすに十分な罰則を設けた厳しい取締措置が伴っていないなければならない。しかし、現在の日本の政策の枠組みでは法への非遵守行為に対する罰則がなく、政府は国会議員からの質問に対して監視が脆弱であることを認めている⁶³。グリーン購入法への非遵守に対する罰則く、厳しい取締がないとはいえ、輸入

者が合法性を確保するために必要な書類チェック以上の措置を取らないことの理由にはならない。

政府のガイドラインでは森林管理者から政府側の調達者までの書類の履歴を義務付けている。サプライチェーン中のすべての関係者は合法性の書類を提出する義務があるが、政府や調達者には、違法性のリスクアセスメントや、リスク軽減のための適切な措置を取ることが義務付けられていない。特にガバナンスが脆弱で違法性リスクの高い木材の場合は、公の文書だけでは合法性を確認するのに十分でない可能性もあるため、現在のシステムではこの重大な問題点を解決することはできていない。

他の主要消費国で出現しつつある木材の合法性確認の枠組みは、違法木材製品の取引を禁止する厳しい法規制を実施することが可能であり、効果も十分にあることを示している。2008年、米国は違法木材製品が国内に入ってくることを差し止める法的な措置を取る世界で最初の国となった。

同様に違法木材・木材製品の輸入を禁止する法律、EU木材法（EUTR）を成立させており、2013年3月から施行が始まっている。こ

の法律は、EU市場に違法木材を導入することを禁止し、輸入者には木材製品の合法性を確認するためのリスクアセスメントとミティゲーション措置を含むデュー・デシリジェンスと呼ばれるプロセスを実施する義務が課されている。レーシー法とEU木材法の成立と実施は、国際的に木材製品業界に劇的な変化をもたらし、輸入業者、加工製造業者及び木材会社はこれまでのやり方を組織的に変えることとなった。

欧米の規制は木材の合法性証明の枠組みが効果的に設計され実施されうという、重要な初期の例として参考になる。日本政府には、こうした規制をもとにして他の消費国の規制と足並みを揃える機会がやってきたと言える。それにより公平さを図り世界中の業界関係者のコンプライアンスのコストを最小化し、輸出国側においてもコンプライアンスを促進することに貢献できるのである。こうした共通要素は、現在国際的にスタンダードとなりつつある規制アプローチを設け、非遵守への実効性を持つ罰則とデュー・デシリジェンスの実施義務を伴う違法木材の輸入禁止を導入するために、日本政府が現在の取組のうえで参考にできる確固とした枠組みを提供している。



毎日ロシアの材木を乗せた約800両の車両が中国の満州里に入ります。



結論

EIA

San Xia社の大連を拠点とする加工工場や、Long Hua社及びShuang Hua社は、中国から日本へのベッドと建築用材の輸出の最大手のうちに二つに数えられ、その輸出相手は日本でも最大の企業のうちの数社である。EIAがロシア及び中国で話をしたほとんどすべての中国企業がロシア東部で起こっている違法伐採の頻度や範囲について非常によく認識していた。San Xia社自体、違法伐採されたロシアのアカマツを調達していることをフランクに認めている。また日本の林野庁も、ロシアにおける違法伐採の問題についていくつも調査を委託しており現状は報告されている⁶⁴。それに関わらず、このリスクの高い木材はいまだに日本市場へ問題なく入ってきているのが現状である。

ロシア東部における森林管理は総合的な改革が必要であり、森林法取締局への予算は大きく増やす必要がある。しかし、ロシアの森林セクターにおけるガバナンスの改善のためのロシア

国内の措置は、主要輸入国が明らかに違法な木材を売っている中国の加工業者から製品を購入する限り、効果を持たないだろう。

違法伐採が、森林コミュニティ、業界、生態系、そして地球の気候に与える大きなリスクについて、そしてこの破壊的な取引の背景にある国際的な需要の役割について、国際的な意識は高まっている。それにより世界の多くの消費国は違法木材の輸入を法的に禁止する手段を取ったのである。米国、EU、そしてオーストラリアにおけるこうした新しい規制は、世界の違法伐採を減少させる効果があることは証明されている⁶⁵。しかし、こうした法律も、世界最大の木材輸入国である中国と、世界第4位の木材製品の輸入国である日本が、違法伐採に由来する輸入を禁止する確固とした行動を取らないことで、その効果が根本的に損なわれてしまう。

ロシア東部における違法で管理されていない伐採は、森林に依存するコミュニティ、地域の生

物多様性、そして森林セクター全体に深刻な影響を及ぼす。安い違法木材は木材の価格を引き下げ、ルールに従っている企業の生存を脅かすため、ロシア、中国そして日本の木材加工業者の持続可能で長期的な企業経営を阻害する。日本は、自国の林業と、輸出国の森林や人々の生活を損なう安くて違法な木材の市場をなくすため、断固として、そして即刻、行動を起こさなければならない。世界の、そして自国の合法な木材生産を支援するため、日本が他の先進国に並ぶ時が来たのである。

中国の満州里で板材へと製材される ロシアのアカマツの丸太



EIA

参考文献

- ロシア税関データより。
- Environmental Investigation Agency, Inc. (2013). *Liquidating the Forests: Hardwood Flooring, Organized Crime, and the World's Last Siberian Tigers*.
- 訳者注：木材調達において書類ベースではなく事実ベースでリスクを評価し、リスクの高い場合はミティゲーションとして追加情報を求めリスクを軽減する制度。EU 木材法にあるデュー・ディリジェンスについては、以下参照：http://ec.europa.eu/environment/forests/timber_regulation.htm#diligence
- Lawson, S., & MacFaul, L. (2010). *Illegal Logging & Related Trade: Lessons from the Global Response*. Chatham House.
- Sheingauz, A.S. (2004). Overview of the forest sector in the Russian Far East: Production, industry and the problem of illegal logging. Washington, DC: Forest Trends.
- RBK Daily. "Putin went to the forest". April 12, 2013: <http://www.rbcdaily.ru/politics/56294998652202>
- Putin "smashed to pieces" the work of the forest department. (2013, April 11). RIA Novosti. Retrieved from <http://ria.ru/economy/20130411/932180359.html>
- Russian Forest News (Rossiskiye Lesnie Vesti), (2013, August 8). *Prosecutor General RF Yuri Chaika: 'It is necessary to complete the work on the draft bill for regulation of roundwood trade'* Retrieved from <http://www.lesvesti.ru/news/news/5562/>
- Auditors found violations Rosleskhoz 6.6 billion rubles. (2014, June 4). Amic.ru. Retrieved from <http://www.amic.ru/news/268465/>
- Russian Ministry of Internal Affairs. (2013, August 14). *A large scale operation for decriminalization of the forest sector carried out* Retrieved from: <http://mvd.ru/news/item/1151750/>
- Smirnov, D.Y. (ed.) Kabanets, A.G., Milakovsky, B.J., Lepeshkin, E.A., Sychikov, D.V. (2013). *Illegal logging in the Russian Far East: global demand and taiga destruction*. WWF, Moscow.
- Smirnov et al. (2013); Lebedev, Anatoly. (2005). *Siberian and Russian Far East Timber for China: Legal and Illegal Pathways, Players and Trends*. Forest Trends. Retrieved from http://www.forest-trends.org/publication_details.php?publicationID=109
- Stephan, John. (1994). *The Russian Far East: A History*. Stanford, CA: Stanford University Press.
- Kotlobai, A., O. Lopina, Y. Kharchevkov, A. Bryukhanov, A. Chegolev and D. Smirnov. (2006). Assessment on the scale of timber of doubtful origin and analysis on measures to promote tracking system in Russian forest-rich regions: North-west, Siberia and Far East. Research report under the framework of Partnership to Promote Responsible Forestry in Russia project between WWF Russia and IKEA. WWF Russia.
- Lankin, A. (2005). Forest product exports from the Russian Far East and eastern Siberia to China: Status and trends. Washington, DC: Forest Trends.
- UN FAO [Food and Agricultural Organization of the United Nations]. (2012). *The Russian Federation Forest Sector: Outlook Study to 2030*. Rome, Italy.
- Smirnov et al. (2013)
- 私信. 中国語原文: 就是一共采伐 就是一共采伐 权有一百四十多万立方。一年都准许你采个, 就是票, 给你林票三万来的, 实际上你可以, 就是你采八万, 他查你去吗。
- 私信
- 私信. ロシア語原文: У нас как в крае делается – берут санитарку. Вот мне надо, допустим, я прихожу и смотрю – вот здесь вот нормальный лес есть, надо оформить его под санитарные рубки. И начинаешь заниматься: берешь лесопатолога, показываешь ему, он составляет акт: допустим, грибок там или еще чего или подгоревший лес.
- EIA. (2013)
- Smirnov et al. (2013)
- Television special *Temniy Les* ("Dark Forest") on the program *Spetsialniy Korrespondent*. Television channel Rossiya 1. May 21, 2010.
- 私信. ロシア語原文: чтобы так нормально работать по большому счету мы же берем на лесосеке, да? Вот стоит дерево, мы его свалили, обрубили, забираем только деловую часть... 30-25% мы бросаем на лесосеке. А ведь все же можно в дело пустить. Остальное оставляем гнить.
- Personal communication.
- EIA. (2013)
- Irkutsk Province Minister of Forest Complex declares war on illegal loggers. (2014, May 28). Irkutskmedia.ru. Retrieved from <http://irkutskmedia.ru/news/oblast/28.05.2014/360802/voynu-nelegalnim-lesozagotoviteliyam-ob-yavil-ministr-lesnogo-kompleksa-irkutskoy.html>
- Illegal loggers guilty in the ignition of forest fires in Irkutskaya Province. (2014, May 18). Irkutskmedia.ru. Retrieved from <http://irkutskmedia.ru/news/oblast/18.05.2014/358104/chernie-lesorubi-vinovati-v-vozniknovenii-lesnih-pozharov-v-irkutsko.html>
- 私信.
- Smirnov et al. (2013)
- 私信. 中国語原文: 因为这个个体这地方指着这个活得人很多很多。只要有钱, 基本上误不了供应。
- 私信. 中国語原文: 得有百分之八十
- 私信. 中国語原文: 啊呀, 大部分全是。我在和南方人跑别的干了三家。几乎都是黑市材。我们天天带着南方人拿着钱, 天天出去收材。(尽是抢得吧?) 那可不是噢, 抢了好几回, 为啥不干了, 拿枪顶着我, 三次。"Black wood" is a literal translation from the Chinese word understood to mean illegal.
- 私信.
- 私信. 中国語原文: 大部分全是
- 私信. 中国語原文: 你看我们收的都是小户, 也比较多。这些小户, 你比方说他办125方的林票, 林业局规划, 就在这呢, 在这采125方, 里面有70方的成才, 剩下那些你烧火, 给你这么个林票, 实际上他可能采1000方, 他就用这个林票, 你每次查我的时候我就有这林票。(老是这125?) 对。他租给他这一片实际上就是租赁, 就是租给你了, 你花点钱, 租赁期之内, 实际上你想采多少采多少。
- 私信. 中国語原文: 嗨, 政府实际上都是睁一只眼闭一只眼的事, 它知道这125方他可能采500方, 或1000方。但是在他租赁期, 你啥时抓住我, 那我就, 我这头一车呀, 什么时候抓住我都是头一车。哈, 实际上, 老毛子这方面管得特别松。
- 私信. 中国語原文: 就因为这个事, 后来就想要点好处。说你这就算触犯法律了, 你说, 都挺熟的, 后来他说你给我买两顿汽油吧。我给了50, 000卢布, 买了两顿汽油。
- 私信.
- 私信. 中国語原文: 你只要是当时没有警察抓你, 或者没有什么, 那就说就是我的。
- 私信.
- Tian, Y. (2008). *China's Imports of Russian Timber: Chinese actors in the timber commodity chain and their risks of involvement in illegal logging and the resultant trade*. Institute for Global Environmental Strategies (IGES).
- EIA. (2013)
- EIA. (2013)
- ロシア税関データ. (2012)
- 中国税関データ. (2013)
- ロシア税関データ. (2012)
- 中国税関データ. (2011)
- ロシア税関データ. (2012)
- 私信. 中国語原文: 如果你发来信息, 国内现在樟松好, 给我打电话, 要什么规格的, 你心里有数, 各个规格买到价多少钱, 我这边及时, 发上给你组织发过去。
- 私信. 中国語原文: 不能采别人的东西, 而且这期间可以运作啥呢, 你可以收点老毛子偷的东西。
- 私信.
- 私信.
- ロシア税関データ. (2012)
- 私信.
- EIA. (2013)
- Smirnov et al. (2013)
- 私信.
- 私信.
- 中国税関データ. (2013)
- Law Concerning the Promotion of Procurement of Eco-friendly Goods and Services by the State and Other Entities (Green Purchasing Law), available at <http://www.env.go.jp/en/laws/policy/green/1.pdf>.
- Ministry of Environment, Japan. Accessed June 29, 2012 at <http://www.env.go.jp/nature/shinrin/pamph2/05-6.pdf>.
- See written response of Japanese Government to questions by MP Shuichi Kato, op. cit.
- See: <https://www.goho-wood.jp/yunyu/ru.html>
- Lawson, S., & MacFaul, L. (2010)



EIA – WASHINGTON, DC

PO Box 53343, Washington, DC 20009, USA

TEL +1 202 483 6621

FAX +1 202 986 8626

EMAIL info@eia-global.org

WWW.EIA-GLOBAL.ORG

EIA – LONDON

62/63 Upper Street, London N1 0NY, UK

TEL + 44 (0) 20 7354 7960

FAX + 44 (0) 20 7354 7961

EMAIL ukinfo@eia-international.org

WWW.EIA-INTERNATIONAL.ORG